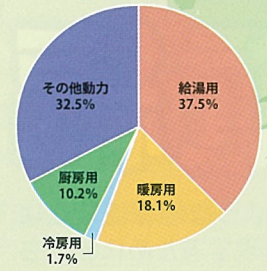


家電王・中村剛さんに聞いた！ 「冬の上手な節電を省エネ家電で考える」

都における家庭部門の
エネルギー消費量の用途別割合
(2019年度)



出典:東京都環境局「家庭の省エネハンドブック」(2022)



中村剛さん

東京電力エナジーパートナー(株)勤務
2002年に「TVチャンピオン」スーパー家電通選手権で優勝。現在は「家電王」として動画マガジン「くらしのラボ」をFacebookとYouTubeで毎週配信している他、様々なメディアで暮らしに役立つ情報を発信している。無類のネコ好き。

電気やガスなど様々なエネルギーの活用でわたしたちの暮らしは成り立っています。
今回のエコのわスタイルは省エネと家電に詳しい家電王の中村さんに節電や省エネにつながる家電の選び方などをお聞きしました。

冬に向けた節電について教えてください

右上の図のように、年間のエネルギー消費量は、給湯と暖房で55.6%を占めています。一例ですが、夏にエアコンで室温を30℃から28℃に下げのに比べて、冬は5℃に冷えた室内を20℃前後まで暖めるため、夏よりも圧倒的に多くのエネルギーを必要とします。また、エアコンの他にストーブやこたつ、床暖房など、電気以外にガスなどの暖房機器も併用して使用しますので、冬こそトータルでの上手な節電が大事ですね。使用する暖房家電を省エネ家電に買換えることで、消費エネルギーを減らすことができます。

省エネ家電に買換えるときのポイントは何ですか？

資源エネルギー庁で家電の省エネ性能を見える化した「省エネラベル」が多くの家電製品に付いています。コストと合わせてラベルの%や星の数で製品を選んでみてはいかがでしょうか。また東京都では、省エネ性能の高いエアコン、冷蔵庫及び給湯器並びにLED照明器具の買換えに対し、商品券などに交換可能な「東京ゼロエミポイント」を付与しています。2022年7月から対象家電を増やしていますので使いやすくなっています。

この記事を読んで下さっている方へ最後に一言お願いします

最新の家電は10年前とは比較にならないほど省エネ性能も機能も確実に進歩しています。省エネ家電に換えて節約につなげたり、食洗器やお掃除ロボットを使うことで家族と過ごす時間を増やし快適な暮らしを目指してみてくださいはいかがでしょうか。

省エネ性能

★★★★☆ 4.0

省エネ基準達成率 84% 年間消費電力量 44kWh/年

エネテック LCH24175

この製品を1年間(1日に5.1時間)使用した場合の目安電気料金 **1,190円**

※この製品は、省エネ基準達成率84%の省エネ性能を有する製品です。省エネ性能は、省エネ基準達成率と年間消費電力量の両方によって決まります。省エネ性能が高い製品は省エネラベルで表示されています。

省エネラベルの3つのポイント

- ★の数と数字に注目！
省エネ性能を高い順に 5.0~1.0 までの 41 段階で表示しています。
- パーセンテージに注目！
省エネ基準に対して、どれだけその製品が基準をクリアしているかを示す数値です。
- コストに注目！
1年間使用した場合の経済性を、年間の目安電気料金で表示しています。ただし、使用状況・環境などによって数値は変わるので、あくまで参考としておきましょう。

10年前のエアコンを買換えると…

年間消費電力量	年間電気代	年間CO2排出量
904 kWh	24,430円	425 kg
↓ 758 kWh	↓ 20,470円	↓ 356 kg
146kWh 省エネ!	3,960円 お得!	69kg 削減!

「しんきゅうさん」の「かんたん比較」で試算
詳しくは省エネ製品買換えナビゲーション しんきゅうさん

出典:東京都環境局「家庭の省エネハンドブック」(2022)

家電製品の平均使用年数
(2人以上の世帯)

冷蔵庫	12.9年
洗濯機	10.8年
掃除機	7.5年
エアコン	13.7年
テレビ	10.4年

出典:内閣府消費動向調査(令和4年3月実施)

SDGs目標7について「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」



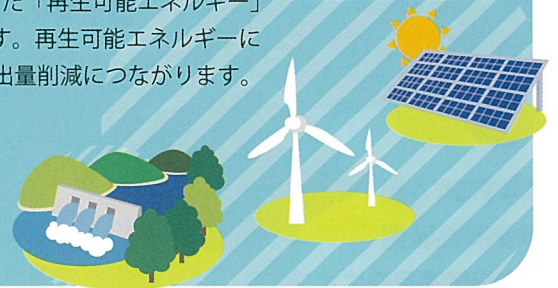
私たちが今できることを考えてみましょう

電気やガスなどのエネルギーは私たちの生活に必要な不可欠ですが、世界では約7億5,900万人が電気を使うことのできない毎日を過ごしています。また、私たちが使っている石油、石炭、天然ガスといった化石燃料をもとにしたエネルギーは、資源に限りがあり、発電時に二酸化炭素を発生することから、地球温暖化の原因の一つとなっています。

SDGs 目標7では、資源の再生が可能で環境に優しい、水力、風力、太陽光発電といった「再生可能エネルギー」を世界中の全ての人が使えるようになることを具体的な達成目標の一つとしています。再生可能エネルギーによる発電が普及すれば、化石エネルギーの消費も少なくなり、結果としてCO2の排出量削減につながります。

この目標に近づけるために、私たちが今できることを考えてみましょう。
今回取り上げた節電もその一つです。節電によるライフスタイルの転換について、みんなで取り組んでみませんか。

※国際連合広報センター持続可能な開発目標(SDGs)報告2021より
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_report/



◆ ご意見・ご感想・エコ情報をお待ちしております ◆

はがき、メール、FAXのいずれかで、住所・氏名・年齢・電話番号・アンケートの答えの他「ご意見・ご感想、エコのわで取り上げて欲しい人や場所、企業、エコに関する情報」などを明記のうえ環境政策課までお寄せください。

★アンケート「エコのわ 30号」でよかった記事を教えてください。(いずれか1つ)

- ①表紙 ②家の中でできる冬の節電編 ③エコのわスタイル
- ④SDGs 目標7について「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」



バックナンバーはこちらから
ご覧いただけます。

「エコのわ」第30号 令和4年10月13日発行

発行: 豊島区環境清掃部環境政策課 〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
電話: 03-3981-2771(直通) FAX: 03-3980-5134
メール: A0029180@city.toshima.lg.jp
制作協力: 株式会社ケイエムアドシステム
掲載されている記事・写真・イラスト等の無断転載・複製を禁じます。

